※令和４年度以降入学生用

学校番号	3038

令和５年度　国際人材科

教科	国際人材	科目	(学)文理課題研究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	課題研究メソッド(啓林館)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目では、１年次に設定した研究課題についての研究を行います。研究テーマについて、必要な情報を正確かつ効率的に集めることや､客観的な根拠に基づいて主張を組み立てることが必要です。難しく感じるかもしれませんが、社会に出てからとても役立つ力です。必ず自分の成長につながりますので、意欲的に取り組みましょう。

研究を行うなかで、いつも思い通りに進むとは限りません。何か困難が生じたときには、他者と協働し乗り越え、粘り強く取り組みましょう。

２　学習の到達目標

研究テーマに対する知識を深めるための情報を集め、研究方法と研究倫理について理解した上で、調査・実験をすることができる。【知識・技能】

調査・実験によって得た情報を客観的な根拠として論理を組み立てる思考力を養う。また、実験や調査等の方法の結果をわかりやすく適切に表現する力を養う。【思考力・判断力・表現力】

課題研究において必要な、何をすべきか自分で考え実行する力を養い、足りない知識・技能を他者と協力しながら協働する力、研究の中で興味・関心の幅を広げ、自分と他者との考え方の違いを知りながら課題解決へと繋げられる人間力の育成をめざす。【学びに向かう力、人間性等】

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	先行研究について調べ、当研究とのつながりを示す力を養い、実験や調査等の方法を明確に示し、根拠のある考察をするができる。	実験や調査等の結果から課題解決の根拠となるものを判断する力、また結果から導かれることを思考する力を養い、それを他者にわかりやすく伝えることができる。	課題解決のために今、何をすべきか自分で考え、実行する力、学術の課題や社会的課題の解決に向けて課題に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	調査・実験の実施	・調査・実験方法 ・調査・実験結果の記録	a:研究課題に対して、適切な調査・実験方法を選ぶことができる。研究倫理に気をつけ、調査・実験結果を正しく記録することができる。 b:調査・実験から、必要な情報を正確かつ効率的に集めることができる。 c: 他者（友人、先生、有識者など）と協働し、調査・実験を行うことができる。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
2学期	結果のまとめ	・記録・分析で気をつけるべきこと ・表やグラフの種類とその特徴	a:研究不正について理解する。表やグラフの種類とその特徴を理解している。 b:調査・実験で得られた結果を、分かりやすくまとめることができる。 c: 研究不正にならないように気をつけて、調査・実験結果をまとめようとすることができる。	ワークシート	ワークシート 発表	ワークシート 発表
	調査・実験の実施	・調査・実験の軌道修正を行う	a:調査・実験によって得られたデータに対して、研究を改良するために必要な方法を選ぶことができる。 b:調査・実験によって得られたデータを確認し、研究を改善することができる。 c:他者（友人、先生、有識者など）と協働し、研究について振り返ることができる。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
3学期	研究内容のまとめ・発表	・論理の組み立て方 ・プレゼンテーションとはなにか	a:論理の組み立て方を理解している。プレゼンテーションとはなにかを理解している。 b:伝えたいことを明確にし、わかりやすく発表することができる。 c:プレゼンテーションを、聴衆とコミュニケーションをとりながら行うことができる。	発表 レポート	発表 レポート	発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度